

令和２年度 学校評価中間評価の結果を受けての後期の取組みについて

領 域	課題の改善に向けた具体的な取組
1 学校経営	◇学校評価の中間評価および後期の取組みを職員会議やＨＰを通して校内外に周知し、全教職員の共通理解と保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら、日々の教育活動に精励する。 ◇様々な教育課題に対し、迅速な情報の共有に努めるとともに、課題解決に向けて適切に組織対応し、教育改革を推進する。
2 学習指導	◇基礎学力の充実 ・総合的な探究の時間で、学び直し教材を活用し基礎学力の充実を図る。 ・本校生徒の実態を踏まえ、授業形態、内容を工夫しながら基礎学力定着を目指した授業を実施する。 ◇本校生徒につけたい力の分析と検討を行う。 ・生徒アンケートと相互参観授業を継続し、生徒の要望を把握するとともに、教員の授業力向上を目指す。
3 生徒指導	◇授業規律の再指導と身だしなみ重点指導（頭髪指導、制服の着用、スカート指導（校内でも））を行う。 ◇指導の定着のために必要な教員間の共通理解・共通行動を図るため、報告・連絡・相談を徹底する。 ◇生徒とのコミュニケーションを積極的にとっていく（登下校時の立ち番や休み時間の巡視等）。
4 進路指導	◇３学年団、他教科の職員と連携しながら、進路決定に至っていない生徒への指導を継続して行う。 ◇３年間を見通した上で、各学年団と協力しながら、体験も含めた進路行事の充実に努める。 ◇７限進学補習やキャリア教育等進路に関わる活動を検討しつつ運営し、生徒の学力や資質の向上につながる環境を整える。
5 特別活動等	◇来年度学園祭についての検討 ・コロナ禍の“新しい生活様式”と高等養護学校とのタイアップの中で、本校生徒にとって適切な学園祭時期と取り組みについて、教員と生徒会の中で十分な論議をする。
6 学校図書館	◇図書整備・雰囲気づくり ・高等養護学校併設を意識した図書資料収集と他教員との連携による図書委員会企画リニューアル。 ◇読書案内や図書リスト発行 ・紙媒体による図書紹介、教科と連携して授業で使用する資料のリスト化を継続。図書館イベントの中で生徒の図書紹介に努める。
7 保健指導	◇保健室の来室状況統計などを教職員向けほけんだよりに記載し、保健室の状況を教職員に情報発信していく。 ◇「かくれんぼ」（教職員掲示板）に生徒向けほけんだよりの配布について記載する。
8 人権教育	◇生徒人権委員会でいじめ防止標語ポスターを作成し校内に掲示をする。 生徒のいじめ防止への意識を高める。 ◇人権映画鑑賞会や人権講演会の内容を深め、生徒の人権意識を高める。 ◇教職員への研修を実施し、人権感覚を高める。

	◇ボランティア活動を活性化する。 ◇個別の教育指導計画および支援計画の作成を完成させ、次年度へ引継ぐ。 3年生については進路先への引き継ぎも行う。 ◇個別の教育支援計画を有する生徒について、本人、保護者との面談を実施し、支援の様子や新たな課題等について情報を共有する。
9 環境教育	◇掃除の時間に個別の生徒への対応が入ることが多く、教員が清掃活動の指導に入れないことがある、教員は掃除の時間を意識して確保するように努める。 ◇ポスター等を掲示し、校内美化の啓発活動を行う。
10 事務・管理	◇限られた予算の範囲ではあるが、生徒の安全・安心を最優先に考えた校内施設の維持管理に取り組む。 ◇個人情報に係るファイルについては鍵のかかる場所に確実に保管するなど個人情報保護を徹底する。また、個人情報を含むデータについてはファイルサーバに保存するなど情報セキュリティ対策を徹底する。
11 その他学校の取組	◇HPを適宜更新するとともに、マチコミメールによる情報の提供と共有を随時行う。 ◇中学校や地域と連携を図り、学校の魅力をPRする。 ◇新型コロナウイルス感染症の拡大防止、現時点で派遣先への入国禁止の状況を鑑み、今年度は留学派遣の中止を決定した。現在長期留学中の生徒については、学校生活再開に備え、帰国後に自宅待機期間を設ける。